



▲南阿蘇登山有料道路は延長13キロ、変化に富んだ新ルートは阿蘇の自然がいっぱい

労働時間の短縮、週休二日制の普及等に伴い、観光への需要は、ますます増加の傾向にありますので、恵まれた観光資源、美しい自然、豊かな人情味を基調として、観光の振興を図ります。

なお、自然環境と調和した観光基盤の整備を進める一方、観光客の誘致対策を促進するとともに、観光客を温かく、親切に迎える運動と、観光従事者の接遇研修を実施します。

☆観光案内等観光標識の整備……………一千二百万円

観光旅行者の利便をはかるため、本県観光振興の動脈となっている、国道、主要県道に観光ルート案内や観光標識を整備します。

★観光客誘致対策……………二千七百七十三万円

本県に多くの観光客を誘致するため、印刷、電波などの媒体を有効に活用するほか、市町村、観光連盟等と密接な連携をとり、また、九州各県とも合同して、広域的な誘致対策を講じます。

☆観光情報網整備……………三百三十四万円

本県の優れた観光資源をはじめとする各種の観光情報をまとめて広く県民に紹介すると共に、観光客に対する親切運動の一環として実施します。

★国立・国定公園施設整備……………六千九百万円

阿蘇・天草の国立公園等に、園地、駐車場、歩道を整備する一方、県立公園内においても芦北海岸の国民保養地の整備を行うとともに、市町村の整備事業に対し、補助をいたします。

★九州自然歩道整備……………七千七百五十万円

五十年より自然歩道を建設して、自然の中で体力づくりや健全なレクリエーション活動を促進する計画です。

本年度は、金峯山コース、小岱山コース、および昨年ひびき続き観海コースを整備します。

☆西南の役記念事業……………四百万円

本年度は西南の役百周年に当たりますので、往時をしのび、激戦地であった田原坂を中心に、観光宣伝や史跡公園の施設を整備します。

★自転車道の整備……………一億三千万円

本年も引続き熊本山鹿自転車道線の整備を進めます。この路線は熊本市を起点とし、山鹿市へ至るものですが、沿線には史跡、名所などがあり、快適なサイクリングコースとなっています。現在、熊本市から着工し、国道二一八号線までの十五・七キロの整備を図っています。



▲中小企業に対する金融、経営の相談風景（商工中金で）

中小企業をとりまく経済環境は、景気回復の中だるみ現象が続いているなかで、厳しい局面を迎えています。加えて最近随所に見られます大規模・中規模小売店の活発な店舗拡張や、大企業の中小企業分野への進出等既存の中小零細企業者にとっては深刻な問題が生じています。

県としては、この厳しい経済環境の中で、中小企業者の経営の安定向上を図るため、指導体制の強化を始め、金融対策の充実、大・中規模店進出対策、貿易物産振興等の推進を図ってまいります。

★中小企業の組織化対策……………五千八百七十五万円

中小企業団体中央会に、指導体制充実のための助成を行い、中小企業組合の組織化と、経営の近代化を推進します。

★小規模事業対策の推進……………七億九千八百六十六万円

商工会ならびにその指導機関である商工会連合会に助成を行ない、小規模企業者の経営改善を推進します。

★中小企業高度化事業の推進……………二十三億一千六百四十八万円

工場等の集団化、企業合同、共同施設、小売商業店舗共同化等の高度化事業の積極的な指導と、これに必要な資金を助成し、構造改善を推進してまいります。

★金融対策の強化……………五十八億八千万円（融資枠百七十億円）

県歳計現金の運用による貸付制度の融資枠を拡大するとともに、信用保証制度の一層の充実を図って、中小企業金融を円滑に推進します。

☆小売商業近代化融資の創設……………三億円（融資枠九億円）

大規模、中規模小売店の進出に伴い、地域小売商業者が、共同又は協業して、経営の近代化を図ろうとする場合の融資制度を創設します。

★商業活動の調整……………五百五十五万円

いわゆる千五百平方メートル未満の中型小売店の店舗進出と、既存の地域小売店との間の、適正な商業活動について、その調整を実施します。

★貿易物産振興対策……………一千七百六十六万円

輸出入の実態調査や貿易相談の外、アメリカで開催されるシカゴ・プレミアムショウへの参加や関東・関西地区における輸出見本市、物産展を実施して、本県産品の販路開拓と振興を図ります。

★伝統工芸産業の育成……………七百六十九万円

常設展示場設置のための調査、産地化対策、デザイン対策を新規にはじめるとともに需要の開拓、後継者育成、伝統品の県指定等の事業も推進します。

★工場誘致対策……………千三十一万円

非公害型企業の導入を前提として、選択的な企業誘致を促進してまいります。